

令和元年6月17日現在

機関番号：82705

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2015～2018

課題番号：15K13258

研究課題名（和文）発達障害のある学生に対する効果的な「キャリア意思決定」のあり方に関する研究

研究課題名（英文）The study of effective "career decision-making" for university students with developmental disabilities

研究代表者

榎本 容子（ENOMOTO, Yoko）

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所・研修事業部・主任研究員

研究者番号：00510596

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、キャリアセンターにおける発達障害のある学生の効果的な「キャリア意思決定を促す相談支援プロセス」を明らかにすること、「支援者がそれらの知見を相談時に活用できるツール」を開発することを目的とした。大学を対象とした質問紙調査結果及びインタビュー調査結果の分析及び、これらの結果を踏まえた相談支援プロセスモデルの整理と支援ツール案（支援者向けQ&A及び学生向け説明資料）の開発を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで、発達障害のある学生の就労支援の在り方について多角的に調査を行った研究は少ない。こうした中、本研究の実施を通じ、発達障害のある学生の就労問題の解決の一助となる基礎的知見の収集がなされた点に学術的意義を有すると考える。また、得られた知見を踏まえ、現場の支援に資するツール開発がなされた点に社会的意義を有すると考える。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to clarify the effective "consulting process to support career decision-making" for students with developmental disabilities who are supported by the universities' career centers, and to develop consultation support tools. We analyzed the questionnaire and interview survey for the universities. Based on these results, we developed a consultation support process model and support tools.

研究分野：特別支援教育

キーワード：発達障害 大学 キャリアセンター キャリア意思決定 キャリア教育 就労支援 移行支援









